

・ 南海トラフ地震臨時情報発表時の対応

【調査中】・【巨大地震注意】の場合

- 原則として平常時の活動を継続する。
- JR東海道線浜松駅着の上下線とも運休の場合は休校とする。
- 備えや避難の方法を再確認する。
- 勤務時間外の場合、地震防災応急対策要員は、校長の指示で参集できるよう待機する。
- 生徒在校時は、副校長が全校放送等により「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応について説明する。
 - ・ 現状とその対応について
 - ・ 備えや避難の方法の再確認について

【巨大地震警戒】の場合

- 原則として、発令当日を含め、3日間休校とする。
- 登下校中の生徒は原則として帰宅する。（登校した生徒は地区ごとに集団下校する）
- 公共交通機関利用者は、乗務員などの指示に従う。
- 在宅時は登校しない。地元市町村警戒本部の指示に従い、自宅または最寄りの緊急避難場所等安全な場所で待機する。
- 生徒在校時
 - ・ 担当の指示に従って安全な場所にH R別に集合し、点呼を受ける。
 - ・ 副校長が全校放送等により「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応について説明する。
 - ① 現状とその対応について
 - ② 備えや避難の方法の再確認について
 - ・ 地区別に集合し、点呼を受ける。原則として地区別に集団下校する。
- 郊外活動時
 - ・ 引率責任者の指示に従って、安全な場所に集合し、点呼を受ける。
 - ・ 引率責任者は、学校に連絡し、状況を報告する。
 - ・ 安全を確認して、できるだけ集団で帰宅する。
 - ・ 安全が確認できない生徒は、引率者の指示のもと、危険箇所を避けて学校に戻ってくる。
 - ・ 帰校後、地区ごとに集団下校する。
- 部活動、補習等で、一部の生徒のみ登校の場合
 - ・ 部活動顧問、補習担当者の指示に従って安全な場所に集合し、点呼を受ける。
 - ・ 部活動顧問、補習担当者が「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応について説明する。
 - ① 現状とその対応について
 - ② 備えや避難の方法の再確認について
 - ・ 地区ごとに集団下校する。